

捕食行動の神経基盤

- ▶ キーワード：捕食行動、協調運動、硬骨魚類

- ▶ 研究概要：

捕食行動は顎顔面、眼球、四肢、体幹など全身の運動を協調させることで実現します。これらの運動を指揮するのが前脳で、ソリストが中脳といったところでしょうか。しかし**脳が複数の運動を協調させる仕組み**について具体的に解っていることはごく僅かです。電気生理学的手法や脳機能イメージングで少しでもこの謎を解きほぐそうと試みています。

- ▶ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

底生淡水魚ドンコ（*Odontobutis obscura*）を実験モデルとして、**前脳への局所刺激が捕食時と同様の協調した下顎－呼吸運動パターンを誘発する**ことを初めて示しました（*J Exp Biol*, 2025）。脳研究だけでなく、ロボット開発や捕食行動の進化など、幅広い分野との連携が期待されます。

- ▶ 研究者

教授 齋藤 和也

専門分野：神経生理学

3

すべての人に
健康と福祉を



17

パートナーシップで
目標を達成しよう

